

2 まちづくりの目標

(1)御堂筋らしさとは

- ・御堂筋エリア（中央大通から長堀通）は大阪を代表するビジネス地区である御堂筋本町北地区と商業集積地であるミナミとの間に位置し、業務のみならず高質な商業施設等が集積しています。
- ・こうした御堂筋沿道エリアが有する、伸ばしていくべき強みと克服すべき課題を踏まえ、まちの将来像を設定しています。
- ・この将来像を実現していくために必要なまちなみ形成のルールを取りまとめることとします。

○地域の強み

【御堂筋エリア全体】

- 業務・商業地の集積、ブランド
- 大阪の伝統や文化の存在
- 御堂筋などの歩いて楽しめる都市環境 等

【本町～長堀 区間】

■空間的な落ち着き

- ・都心でありながら、空間的な落ち着きを持ち合わせている地区。

■時代のニーズに合わせて表情を変える多機能複合空間

- ・御堂筋沿道であるブランドは保ちつつ、淀屋橋～本町、長堀～難波間の機能が融合し、時代のニーズにあわせて表情を変えることができる多機能複合空間。

○課題

【御堂筋エリア全体】

- 都心のマクロトレンド（24 時間化・多様性、安全・安心）への対応
- 御堂筋の「強み」を発揮したまちづくり

【本町～長堀 区間】

■業務エリアと商業エリアを結ぶエリアとしての役割の発揮

- ・業務エリアと商業エリアを結ぶエリアとして、強みをいかした特色のさらなる発揮。



(2)御堂筋エリアの将来像

○御堂筋エリア全体

- ・前項を踏まえ、御堂筋エリアの今後の将来像（ビジョン）について、次のように定めます。

【コンセプト】

大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート

～歩いて楽しめ、24時間稼働する多機能エリアへ～

【今後の御堂筋エリアの方針】

1. 安全・安心かつ複合的な都市機能を備えたまちへ
2. 御堂筋の強みをより発揮した大阪の顔にふさわしい世界的なまちへ

【各分野における取組方針】

（主に機能面）

1. 世界を魅了する個性豊かな「にぎわい」の形成

～御堂筋フェスティバルモール化

- ・世界を魅了する大阪・関西一の「ハレ」の場として、クオリティの高いデザインストリートの実現などにより、キタからミナミまで各エリアの個性をいかした多様なにぎわいを形成することで、御堂筋のブランド力の向上を図る。

2. 多様な機能をあわせ持つ「ビジネス」地区の形成

- ・エリアのブランドや歴史・風格ある都市環境等を強みとした大阪を代表する業務集積地を形成する。
- ・業務機能を軸としながらも、業務機能の強化に資する多様な機能（商・学・住等）の導入を図る。
- ・また、防災機能及び効率的なエネルギーの活用などにより環境性能の向上を図り、エリア全体として国際レベルの都市機能を備えたビジネス地区の形成をめざす。

（主に空間面）

3. ヒューマン※かつ高質な「都市環境」の形成

- ・統一感のある都市景観を継承しつつ、ヒューマンスケールのまちなみ形成を図るとともに、人中心の道路空間への再編の動きと連動しながら、ヒューマンかつ高質な「都市環境」の形成を図る。

（※「人間らしい」「人間的な」という意味から、ここでは「人間本位の」「人が主役となる」という趣旨で用いています。）

○本町～長堀 区間

【コンセプト】

特別な時間を愉しむことができる落ち着いた複合地区

落ち着いた空間の強みをいかし、都心の多様性、多機能化といった
時代のニーズに合わせた特色の発揮

(3)本町～長堀 区間のまちなみ創造の方針

【落ち着き】	落ち着きと高級感のある複合市街地の形成
【にぎわい】	高級なにぎわいのあるまちなみの形成
【安全・安心】	安全・安心に配慮したまちづくり
【環境】	環境負荷の軽減に配慮したまちづくり